

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2019年11月12日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

<投資家・アナリスト向け>

富士フイルムホールディングス株式会社 2020年3月期 第2四半期決算について、説明させていただきます。

2020年3月期 上期決算発表のポイント

**上期業績：営業利益は前年比+9.7%、
為替影響を除くと+19.3%の大幅増益**
通期予想：株主帰属当期純利益を上方修正(過去最高益)

事業別 業績 (前年比)	売上 ✓ 全体では、中国景気減速の影響に加え、イメージングの販売減、ドキュメントの欧米向け輸出の減少などにより減収となるも、メディカルシステム事業がけん引し、ヘルスケアは伸長 営業利益 ✓ ヘルスケアが、メディカルシステム事業、再生医療事業の増収などにより増益 ✓ ドキュメントは、収益性の改善や構造改革効果により増益 ✓ イメージングは、減収により減益
特記 事項	✓ 富士ゼロックスの完全子会社化完了(11月8日) ✓ 当社株主帰属当期純利益の通期予想を70億円上方修正(過去最高益)、2021年3月期のROE目標8%を1年前倒しで達成

2020年3月期 上期決算について、ポイントを説明します。

2020年3月期 上期の業績は

営業利益が前年比で+9.7%の増益、為替影響を除くと+19.3%の大幅増益となりました。計画比では、為替のマイナス影響をオペレーションで挽回し、ほぼ計画通り進捗しています。

売上は、全体では中国向けビジネスが景気減速の影響を受けたことに加え、イメージングの販売減やドキュメントの欧米向け輸出の減少により減収となりましたが、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業がけん引したことでヘルスケアが伸長しました。

営業利益は、イメージングとマテリアルズは減益となりましたが、ヘルスケアは増益、収益性の改善や構造改革効果によりドキュメントも増益となりました。

特記事項として、

富士ゼロックスの完全子会社化を11月8日に完了しました。11月度より100%連結決算に取り込みます。これにより、当社株主帰属当期純利益の通期予想を70億円上方修正し、2021年3月期のROE目標8%を1年前倒しで達成します。

2020年3月期 上期 業績 (2019年4月～2019年9月)

(単位：億円)

	上期				
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	為替影響	為替影響除く
売上高	11,727 100.0%	11,321 100.0%	-406 -3.5%	-230	-176 -1.5%
営業利益	839 7.2%	920 8.1%	81 +9.7%	-81	162 +19.3%
税金等調整前 四半期純利益	988 8.4%	975 8.6%	-13 -1.3%	-110	97 +9.8%
当社株主帰属 四半期純利益	655 5.6%	611 5.4%	-44 -6.6%	-76	32 +5.0%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	152.43円	149.38円	-3.05円	<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における 原材料価格影響：+19億円	
為替 : 米ドル : ユーロ	110円 130円	109円 121円	1円高 9円高		

3

2020年3月期上期の業績は、

売上高は、前年比3.5%減の1兆1,321億円、

営業利益は、前年比9.7%増の920億円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、前年の持分証券の評価益が大きかったことなどにより、前年比1.3%減の975億円、

当社株主帰属四半期純利益は、前年比6.6%減の611億円となりました。

セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位：億円)

売上高	上期		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
イメージング	1,759	1,541	-218 (-12.4%)	-53	-165 (-9.4%)
ヘルスケア	2,234	2,304	70 (+3.1%)	-51	121 (+5.4%)
ヘルスケア&マテリアルズ	4,990	4,927	-63 (-1.3%)	-101	38 (+0.8%)
ドキュメント	4,978	4,853	-125 (-2.5%)	-76	-49 (-1.0%)
合計	11,727	11,321	-406 (-3.5%)	-230	-176 (-1.5%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	上期		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
イメージング	216	101	-115 (-53.0%)	-25	-90 (-41.1%)
ヘルスケア	24	111	87 (4.6倍)	-18	105 (5.4倍)
ヘルスケア&マテリアルズ	375	450	75 (+20.0%)	-29	104 (+27.6%)
ドキュメント	433	549	116 (+26.9%)	-28	144 (+33.3%)
本社/連結調整	-185	-180	5	1	4
合計	839	920	81 (+9.7%)	-81	162 (+19.3%)

続いて、セグメント別の状況について説明します。

イメージング ソリューション部門は、

カラーペーパーやインスタントフォトシステム、デジタルカメラの販売減などにより、

売上高は、前年比12.4%減の1,541億円、

営業利益は、前年比53.0%減の101億円となりました。

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション部門は、

主にグラフィックシステム事業の刷版材料の需要減の影響などにより、

売上高は、前年比1.3%減の4,927億円、

営業利益は、ヘルスケアの収益性の改善により、

前年比20.0%増の450億円となりました。

同部門のうち、ヘルスケアは

メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業が伸長し、

売上高は、前年比3.1%増の2,304億円、

営業利益は、対前年4.6倍の111億円となりました。

ドキュメント ソリューション部門の売上高は、

主に欧米向け輸出の減少などにより

前年比2.5%減の4,853億円、

営業利益は、収益性の改善や構造改革効果により

対前年26.9%増の549億円となりました。

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

(単位：億円)					
売上高	対前年度		営業利益	対前年度	
1,541	-218	(-12.4%)	101	-115	(-53.0%)

- ・ フォトイメージングでは、カラーペーパーの販売減に加えて、インスタントフォトシステムで米国の一部リテーラーで在庫調整が入ったことや1Qに新製品発売前の端境期があったことなどにより売上は減少。2019年6月に発売したハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay」や10月に発売した「instax mini Link」を中心に拡販を図る。
- ・ 電子映像では、市場環境が厳しく、主にミラーレスのエントリーモデルの売上が減少。10月に発売した「FUJIFILM X-A7」や11月発売のフラッグシップモデル「FUJIFILM X-Pro3」を中心に拡販していく。
- ・ 光学デバイスでは、主に中国景気の減速による車載用など各種産業用レンズの需要減の影響を受け、売上は減少。プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」やシネマカメラ用ズームレンズ「Premista」シリーズなど、新製品のラインアップ強化により、事業成長を図る。

売上は、インスタントフォトシステムやミラーレスデジタルカメラの販売減の影響などで減収。営業利益は、減収により減益。

イメージング ソリューション部門について説明します。

フォトイメージングは、カラーペーパーの販売減少や、1Qにインスタントフォトシステムの新製品発売前の端境期があったこと、米国の一部リテーラーにおける在庫調整などの一時的な影響により、売上は減少しました。今年6月に販売を開始した「instax mini LiPlay (インスタックス ミニ リプレイ)」や、10月に発売したユニークな機能を搭載し、操作性と携帯性に優れたスマートフォン用プリンター「instax mini Link (インスタックス ミニ リンク)」などを中心に拡販を図ります。

電子映像は市場環境が厳しく、主にミラーレスのエントリーモデルの販売減などにより、売上が減少しました。世界最高1億2百万画素のラージフォーマットセンサーを搭載したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100(フジフィルム ジーエフエックス ヒャク)」に加え、10月に発売した「FUJIFILM X-A7(フジフィルム エックス エーセブン)」や、独自の色再現技術による卓越した画質と小型軽量を実現する「Xシリーズ」のフラッグシップモデルで、11月発売の「FUJIFILM X-Pro3(フジフィルム エックス プロスリー)」などの販売を強化していきます。

光学デバイスでは、主に中国景気減速による車載用など各種産業用レンズの需要減などの影響を受けて売上は減少しました。「FUJINONレンズ」の光学技術を結集した「FUJIFILM PROJECTOR Z5000(フジフィルム プロジェクター ゼットゴセン)」やラージフォーマットセンサー対応シネマカメラ用ズームレンズ「Premista(プレミスタ)」シリーズなど、新製品のラインアップ強化により事業成長を図っています。

イメージング ソリューション部門は、対前年で売上高は減少、営業利益は減収や為替影響などにより、減益となりましたが、業績目標の達成に向け、独自技術を駆使した競合優位性の高い製品の提供や効果的なプロモーションの展開により、販売を一層強化していきます。

セグメント別 概況

■ ヘルスケア&マテリアルズ
ソリューション

		(単位:億円)	
売上高	対前年度	営業利益	対前年度
4,927	-63 (-1.3%)	450	75 (+20.0%)

- ・ メディカルシステムは、医療ITや内視鏡などの分野で販売が好調に推移。バイオCDMOは、設備増強によりバイオ医薬品の開発・製造受託が好調に推移。再生医療は、2018年6月に連結子会社化した培地のリーディングカンパニーFUJIFILM Irvine Scientific が寄与し、売上が大幅に増加。
- ・ ディスプレイ材料は、WVフィルムの需要減などの影響で売上が減少したが、有機EL 向けなどの新製品販売が好調に推移。
- ・ 電子材料は、先端フォトソ周辺材料などが市場影響を受けたが、イメージセンサー用カラーレジストなどの販売は堅調に推移。
- ・ 記録メディアは、高容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が好調に推移。
- ・ グラフィックシステムは、刷版材料の需要減により売上は減少。

売上は、全体では減少となるも、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業がけん引し、ヘルスケアが伸長。営業利益は、ヘルスケアの収益性改善により大幅増加。

続いて、ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門です。

ヘルスケアのうち、

メディカルシステムは、医療ITや内視鏡などの分野で販売が好調に推移しました。バイオCDMOは、設備増強によってバイオ医薬品のプロセス開発受託および製造受託が増加しました。再生医療は、昨年6月に連結子会社化した培地のリーディングカンパニー「FUJIFILM Irvine Scientific(フジフィルム アーバイン サイエンティフィック)」が寄与し、売上が増加しました。

高機能材料のうち、

ディスプレイ材料は、WVフィルムの需要減などの影響を受けて減収となったものの、有機EL向けなどの新製品販売が好調に推移しました。電子材料は、フォトソ周辺材料などの先端製品は市場影響を受けましたが、イメージセンサー用カラーレジストなどの販売は堅調で、売上は前年並みとなりました。記録メディアは、新製品の「FUJIFILM LTO Ultrium8 データカートリッジ(フジフィルム エルティーオー ウルトリウム エイト データカートリッジ)」などの高容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が増加しました。

グラフィックシステムでは、刷版材料の需要減により売上は減少しました。インクジェットデジタルプレス「Jet Press 750S(ジェット プレス ナナハクゴジュウ エス)」など、デジタル化が加速する商業印刷分野に対して今後も画期的な製品を開発・提供し、事業成長を図っていきます。

ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門は、全体では減収となりましたが、メディカルシステム事業やバイオCDMO事業、再生医療事業などで売上が増加。営業利益は、ヘルスケアの収益性改善などにより増加しました。

セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	対前年度
4,853	-125 (-2.5%)	549	116 (+26.9%)

(単位：億円)

- ・ オフィスプロダクト分野は、欧米向け輸出が減少したものの、国内で堅牢なセキュリティ環境を実現するフラッグシップモデルのカラー複合機「ApeosPort-VII C」シリーズの販売や、アジアパシフィック・中国地域で小規模事業所向けカラー複合機「DocuCentre-VI C2264」の販売が好調に推移。
- ・ プロダクションサービスは、高速・高画質のカラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press」の販売が各地域で引き続き好調。
- ・ ソリューション&サービスは、国内で、オフィスのIT環境の構築、運用などを一括してサポートする役務サービスが伸長、オーストラリアでは大型BPO契約を獲得し、売上が好調に推移。

欧米向け輸出の減少などにより減収も、
収益性の改善や構造改革の効果により大幅増益

最後に、ドキュメント ソリューション部門について説明します。

オフィスプロダクト&プリンターのオフィスプロダクト分野では、欧米向け輸出が減少しましたが、国内で堅牢なセキュリティ環境を実現するフラッグシップモデルのカラー複合機の販売やアジアパシフィック・中国地域で小規模事業所向けカラー複合機の販売が好調に推移しました。

プロダクションサービスは、カラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press(イリデッセ プロダクション プレス)」の販売が引き続き各地域で好調に推移しました。2019年2月より国内で販売を開始したオフセット印刷の画質に迫る商業印刷向け高速ロール紙カラーインクジェットプリンター「11000 Inkjet Press(イチマンセン インクジェット プレス)」と合わせて、商業印刷市場のデジタル化をさらに拡大します。

ソリューション&サービスは、国内でオフィスのIT環境の設計・導入・運用・管理を一括してサポートする役務サービスの販売が伸長したことやオーストラリアでの大型BPO(Business Process Outsourcing)契約の獲得により、売上が好調に推移しました。お客様の業務効率化や生産性向上を支援するサービスを順次提供し、サービス領域での更なる成長を目指します。

ドキュメント ソリューション部門の売上高は、欧米向け輸出の減少などにより減収となりましたが、営業利益は、収益性の改善や構造改革の効果などにより、増益となりました。引き続き、ソリューション&サービス、プロダクションサービスなど成長領域の拡大に努めるとともに、構造改革を進め、収益性を高めていきます。

連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 9月末	対19年 3月期末		18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 9月末	対19年 3月期末
現金 及び現金同等物	7,682	6,547	6,280	-267	長短社債 及び借入金	4,542	5,241	5,438	197
受取債権	6,191	6,178	5,399	-779	支払債務	2,485	2,384	2,180	-204
棚卸資産	3,613	3,745	3,988	243	その他流動 固定負債	4,915	4,073	4,732	659
その他流動資産	1,122	839	912	73	負債計	11,942	11,698	12,350	652
流動資産計	18,608	17,309	16,579	-730	株主資本計	20,791	20,370	20,359	-11
有形固定資産	5,375	5,268	5,836	568	非支配持分	2,196	2,079	2,099	20
営業権	5,916	6,555	6,840	285	純資産計	22,987	22,449	22,458	9
その他固定資産	5,030	5,015	5,553	538	負債・純資産 合計	34,929	34,147	34,808	661
固定資産計	16,321	16,838	18,229	1,391	(単位：円)				
資産合計	34,929	34,147	34,808	661	期末日 為替レート	18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 9月末	対19年 3月期末
					米ドル	106	111	108	3円高
					ユーロ	131	125	118	7円高

次に、バランスシートについて説明します。

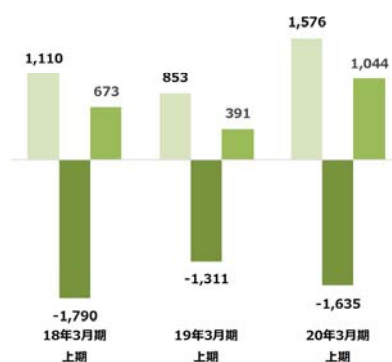
2020年3月期9月末時点の資産合計は、
2019年3月期末時点と比べ、有形固定資産の増加などにより、661億円増の3兆
4,808億円となりました。

負債は652億円増の1兆2,350億円、株主資本は11億円減の2兆359億円となりま
した。

流動比率は前期末と同じ246.5%、負債比率は3.3ポイント増の60.7%、株主資本
比率は1.2ポイント減の58.5%となりました。

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
■ フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）
 （単位：億円）



	(単位：億円)		
	18年3月期 上期	19年3月期 上期	20年3月期 上期
四半期純利益	775	742	720
減価償却費	616	632	605
受取債権の増(-)減(+)	456	387	644
棚卸資産の増(-)減(+)	-278	-352	-320
営業債務の増(+)減(-)	-285	-81	-67
その他	-174	-475	-6
営業活動によるC F	1,110	853	1,576
設備投資	-306	-298	-431
ソフトウェアの購入	-96	-101	-96
投資有価証券の売却・購入等	-96	-6	-46
事業買収	-1,257	-843	-1,057
その他	-35	-63	-5
投資活動によるC F	-1,790	-1,311	-1,635
フリー・キャッシュ・フロー	-680	-458	-59
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー	673	391	1,044

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収および有価証券・投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

9

続いて、キャッシュ・フローについて説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,576億円の収入となり、前年に対して723億円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、事業買収などにより、1,635億円の支出となりました。この結果、事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フローは、1,044億円の収入となり、前年に対して653億円増加しました。

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

富士ゼロックスにおける構造改革

10

次に、富士ゼロックスにおける構造改革について、進捗をご報告いたします。

富士ゼロックスにおける構造改革

(単位：億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	合計
構造改革費用等 一時費用	700	161	100	20	981
効果	0	310	180	60	550

2020年3月期	1Q実績	2Q実績	上期実績	通期計画
構造改革費用等 一時費用	41	4	45	100
効果	83	38	121	180

2020年3月期上期の構造改革は
計画通り順調に進捗

2020年3月期上期の構造改革費用等一時費用は45億円、効果は121億円となり、計画通り順調に進捗しています。

本構造改革を確実に実行することで、コスト削減を実現し、市場の変化・競争に耐える収益性・生産性を確保しつつ、新たな成長領域へ再投資し、持続的な成長を実現できる事業基盤を確立します。

以上、2020年3月期第2四半期決算についてご説明いたしました。

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2020年3月期 業績予想

2020年3月期の連結業績予想について説明します。

2020年3月期 連結業績予想 (2019年11月12日時点)

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年 3月期 前回予想	2020年3月期	対前年度	対前回予想
売上高	24,315 100%	24,800 100%	24,350 100%	35 +0.1%	-450 -1.8%
営業利益	2,098 8.6%	2,400 9.7%	過去 最高 2,400 9.9%	302 +14.4%	0 +0.0%
税金等調整前 当期純利益	2,128 8.8%	2,450 9.9%	過去 最高 2,450 10.1%	322 +15.2%	0 +0.0%
当社株主帰属 当期純利益	1,381 5.7%	1,550 6.3%	過去 最高 1,620 6.7%	239 +17.3%	70 +4.5%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	326.81円	378.71円	395.72円	+68.91円	17.01円
ROE	6.7%	7.5%	8.0%	+1.3%	+0.5%
為替 : 米ドル	111円	110円	108円	3円高	2円高
: ユーロ	128円	125円	122円	6円高	3円高
銀価格 (/kg)	55,000円	58,000円	56,000円	+1,000円	-2,000円

* 2020年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円 ユーロ：8億円

13

売上高は、為替前提を円高方向に見直す影響350億円などにより、前回予想から450億円下方修正し、前年比横ばいの2兆4,350億円にします。

営業利益は前回予想から変更致しません。
為替の円高影響を勘案すると95億円の減益要因となりますが、過去最高益となる前年比14.4%増の2,400億円を据え置きます。
一部、市場環境の厳しい事業がありますが、これまでに確立した当社の強固な事業ポートフォリオでカバーしていきます。

また、当社株主帰属当期純利益は、富士ゼロックスの完全子会社化による非支配持分帰属利益70億円を取り込むことにより、こちらも過去最高益となる前年比17.3%増の1,620億円にします。これにより、ROEは2021年3月期に目標としていたROE8%を1年前倒しで達成します。

2020年3月期の配当金は、対前年15円増配の95円を予定しています。

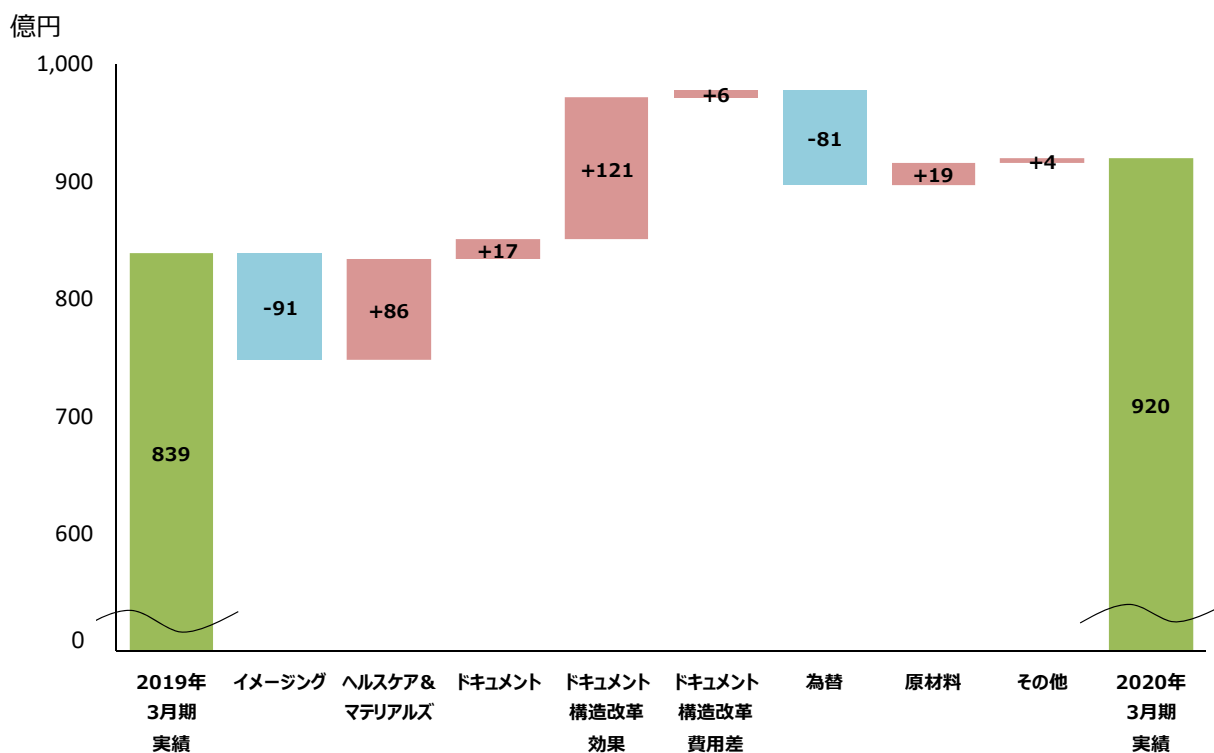
以上、2020年3月期通期業績予想についてご説明いたしました。

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

参考資料

2020年3月期 第2四半期 決算説明会 参考資料

営業利益増減分析(対前年上期実績)



2Q/上期 業績

(単位：億円)

	2Q			上期		
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期
売上高	6,078 100.0%	5,968 100.0%	-110 -1.8%	11,727 100.0%	11,321 100.0%	-406 -3.5%
営業利益	470 7.7%	549 9.2%	79 +16.7%	839 7.2%	920 8.1%	81 +9.7%
税金等調整前 四半期純利益	530 8.7%	711 11.9%	181 +34.1%	988 8.4%	975 8.6%	-13 -1.3%
当社株主帰属 四半期純利益	372 6.1%	464 7.8%	92 +25.1%	655 5.6%	611 5.4%	-44 -6.6%
為替 : 米ドル	111円	107円	4円高	110円	109円	1円高
: ユーロ	130円	119円	11円高	130円	121円	9円高

<その他増減要因 (2Q/上期 対前年度) > 営業利益 原材料 : +8億円 / +19億円

16

2Q/上期 業績

(単位：億円)

売上高	2Q			上期		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度
イメージング	880	795	-85 (-9.7%)	1,759	1,541	-218 (-12.4%)
ヘルスケア	1,216	1,263	47 (+3.9%)	2,234	2,304	70 (+3.1%)
ヘルスケア&マテリアルズ	2,631	2,651	20 (+0.7%)	4,990	4,927	-63 (-1.3%)
ドキュメント	2,567	2,522	-45 (-1.7%)	4,978	4,853	-125 (-2.5%)
合計	6,078	5,968	-110 (-1.8%)	11,727	11,321	-406 (-3.5%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q			上期		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度
イメージング	94 [10.7%]	56 [7.1%]	-38 (-40.4%)	216 [12.2%]	101 [6.6%]	-115 (-53.0%)
ヘルスケア	16 [1.3%]	58 [4.6%]	42 (3.6倍)	24 [1.1%]	111 [4.8%]	87 (4.6倍)
ヘルスケア&マテリアルズ	194 [7.4%]	261 [9.9%]	67 (+34.5%)	375 [7.5%]	450 [9.1%]	75 (+20.0%)
ドキュメント	284 [11.0%]	332 [13.2%]	48 (+16.9%)	433 [8.6%]	549 [11.3%]	116 (+26.9%)
全社/連結調整	-102	-100	2	-185	-180	5
合計	470 [7.7%]	549 [9.2%]	79 (+16.7%)	839 [7.2%]	920 [8.1%]	81 (+9.7%)

17

2Q/上期 業績

イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	571	536	-35 (-6.0%)	-12 (-1.9%)	1,129	1,005	-124 (-10.9%)	-92 (-8.1%)
電子映像	213	174	-39 (-18.6%)	-29 (-14.1%)	441	370	-71 (-16.2%)	-54 (-12.4%)
光学デバイス	96	85	-11 (-12.1%)	-8 (-8.8%)	189	166	-23 (-12.4%)	-19 (-10.4%)
光学・電子映像	309	259	-50 (-16.6%)	-37 (-12.4%)	630	536	-94 (-15.1%)	-73 (-11.8%)
合計	880	795	-85 (-9.7%)	-49 (-5.6%)	1,759	1,541	-218 (-12.4%)	-165 (-9.4%)

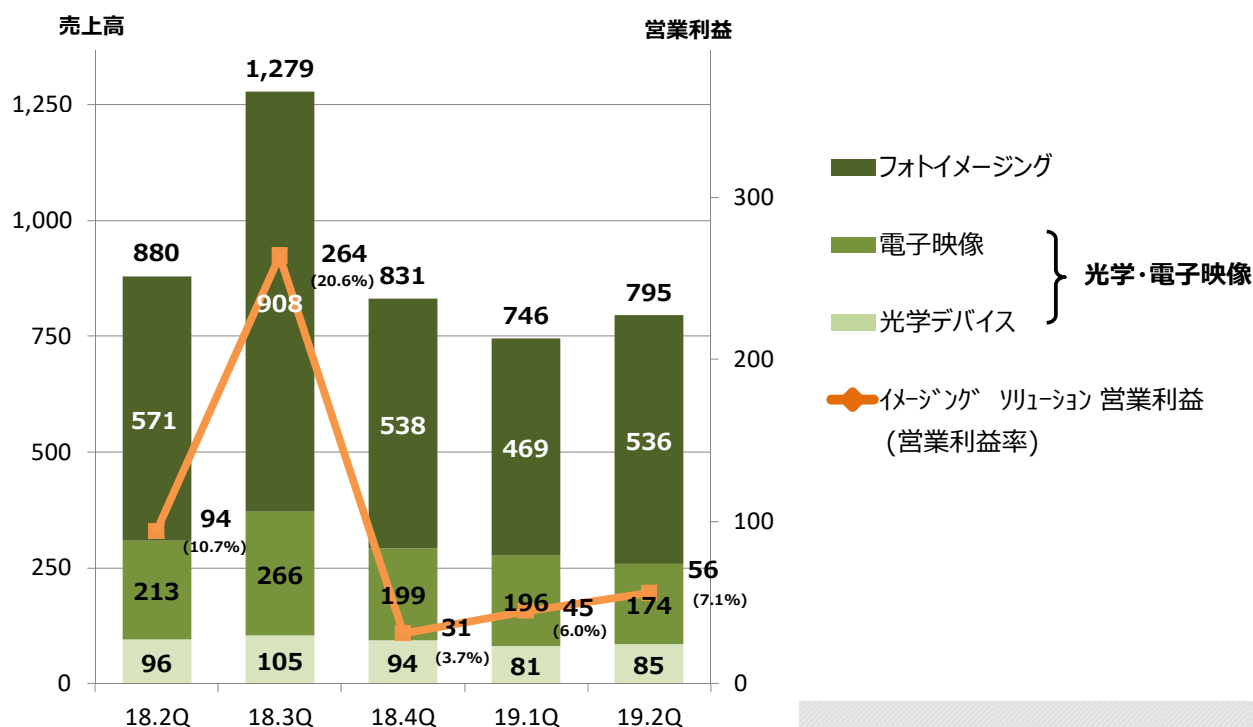
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
イメージング	94 [10.7%]	56 [7.1%]	-38 (-40.4%)	-22 (-23.4%)	216 [12.2%]	101 [6.6%]	-115 (-53.0%)	-90 (-41.1%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

イメージング ソリューション (単位：億円)



2Q/上期 業績

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位: 億円)

売上高	2Q				上期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	1,216	1,263	47 (+3.9%)	82 (+6.7%)	2,234	2,304	70 (+3.1%)	121 (+5.4%)
ディスプレイ材料	277	254	-23 (-8.3%)	-23 (-8.3%)	507	462	-45 (-8.8%)	-45 (-8.8%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	441	440	-1 (-0.4%)	13 (+2.7%)	877	852	-25 (-2.8%)	-9 (-1.0%)
高機能材料	718	694	-24 (-3.5%)	-10 (-1.5%)	1,384	1,314	-70 (-5.0%)	-54 (-3.9%)
記録メディア	87	135	48 (+55.7%)	52 (+60.6%)	180	232	52 (+28.5%)	56 (+30.9%)
グラフィックシステム/インクジェット	607	555	-52 (-8.4%)	-31 (-5.0%)	1,186	1,070	-116 (-9.7%)	-86 (-7.2%)
その他	3	4	1	1	6	7	1	1
合計	2,631	2,651	20 (+0.7%)	94 (+3.6%)	4,990	4,927	-63 (-1.3%)	38 (+0.8%)

*セグメント間取引消去後

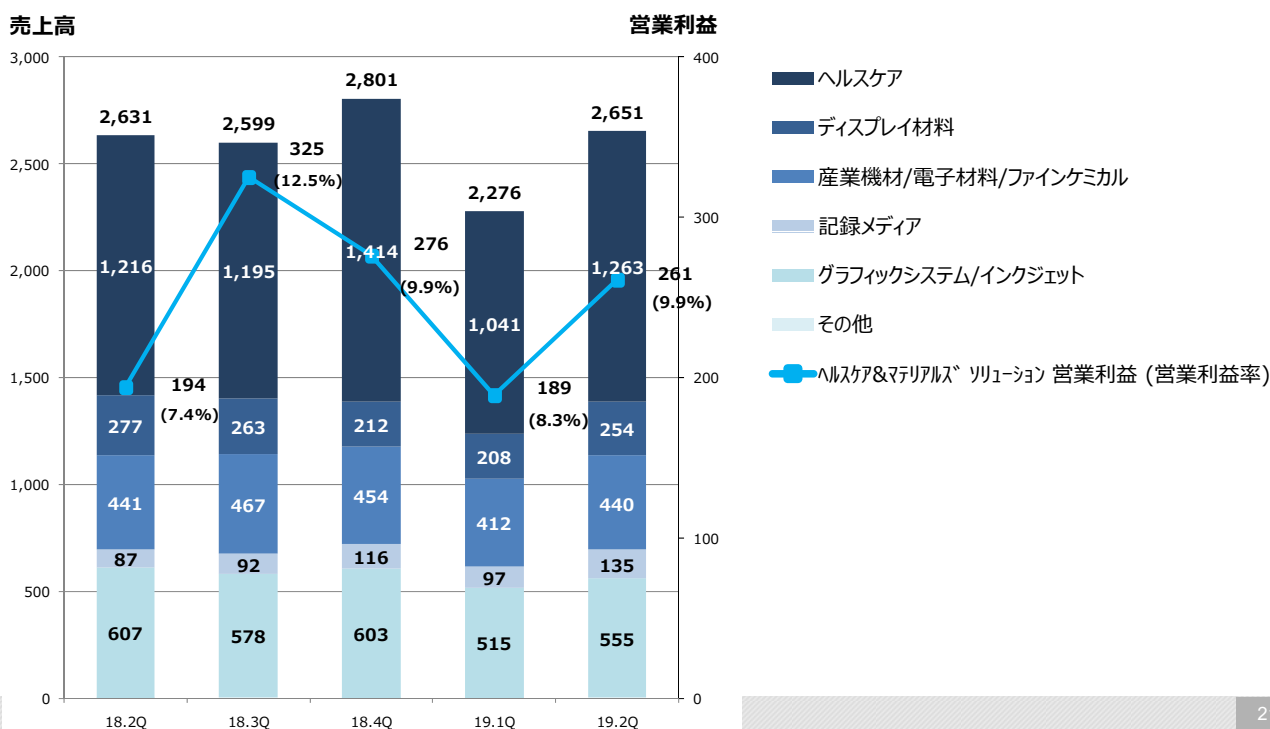
(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	16 [1.3%]	58 [4.6%]	42 (3.6倍)	49 (4.1倍)	24 [1.1%]	111 [4.8%]	87 (4.6倍)	105 (5.4倍)
ヘルスケア&マテリアルズ	194 [7.4%]	261 [9.9%]	67 (+34.5%)	86 (+44.3%)	375 [7.5%]	450 [9.1%]	75 (+20.0%)	104 (+27.6%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位: 億円)



2Q/上期 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
オフィスプリンター	326	313	-13 (-3.9%)	-7 (-2.3%)	627	601	-26 (-4.1%)	-21 (-3.4%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,466	1,394	-72 (-4.9%)	-49 (-3.3%)	2,863	2,731	-132 (-4.6%)	-97 (-3.4%)
プロダクションサービス	324	315	-9 (-2.8%)	-1 (-0.5%)	616	588	-28 (-4.6%)	-16 (-2.7%)
ソリューション&サービス	664	741	77 (+11.4%)	91 (+13.6%)	1,243	1,366	123 (+9.9%)	147 (+11.8%)
その他	113	72	-41	-38	256	168	-88	-83
合計	2,567	2,522	-45 (-1.7%)	3 (+0.1%)	4,978	4,853	-125 (-2.5%)	-49 (-1.0%)

*セグメント間取引消去後

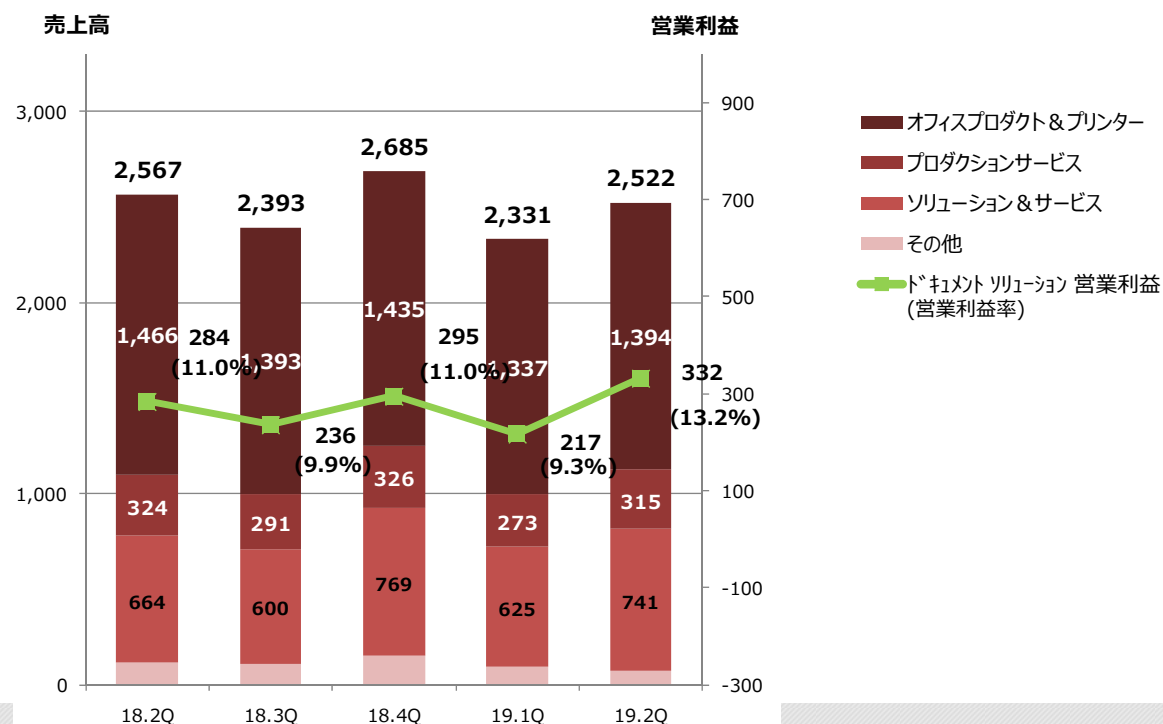
(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ドキュメント	284 [11.0%]	332 [13.2%]	48 (+16.9%)	60 (+21.1%)	433 [8.6%]	549 [11.3%]	116 (+26.9%)	144 (+33.3%)

22

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション (単位：億円)



23

国内・海外別連結売上高

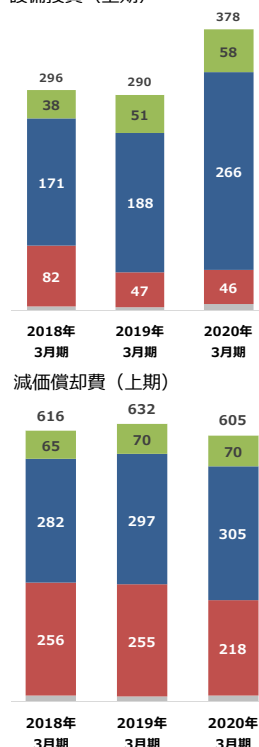
(単位：億円)

	2019年3月期 上期		2020年3月期 上期		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	41.0%	4,808	43.5%	4,919	111	(+2.3%)
米州	18.8%	2,200	18.0%	2,038	-162	(-7.4%)
欧州	12.8%	1,504	12.4%	1,399	-105	(-7.0%)
内、中国	12.7%	1,494	12.1%	1,375	-119	(-8.0%)
アジア他	27.4%	3,215	26.1%	2,965	-250	(-7.8%)
海外	59.0%	6,919	56.5%	6,402	-517	(-7.5%)
合計	100.0%	11,727	100.0%	11,321	-406	(-3.5%)

24

設備投資、減価償却費

設備投資 (上期)



年度	2Q			上期			通期		
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
イメーシング	21	21	37	38	51	58	94	106	
ヘルスケア&マテリアルズ	96	115	161	171	188	266	427	505	
ドキュメント	39	27	30	82	47	46	138	117	
コーポレート	3	3	6	5	4	8	16	26	
設備投資 ※	159	166	234	296	290	378	675	754	900
イメーシング	32	36	36	65	70	70	133	141	
ヘルスケア&マテリアルズ	142	154	159	282	297	305	575	631	
ドキュメント	128	125	104	256	255	218	547	501	
コーポレート	7	4	6	13	10	12	21	26	
減価償却費	309	319	305	616	632	605	1,276	1,299	1,280
有形固定資産の減価償却費 ※	166	167	171	328	334	334	665	709	

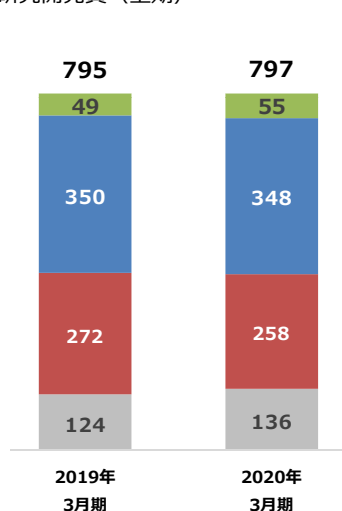
※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

25

研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費（上期）



- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位：億円)

年度	2Q		上期		通期	
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
イメージング	24	28	49	55	99	
ヘルスケア&マテリアルズ	172	176	350	348	698	
ドキュメント	134	128	272	258	512	
コーポレート	64	75	124	136	252	
研究開発費	394	407	795	797	1,561	1,550
<売上高比>	6.5%	6.8%	6.8%	7.0%	6.4%	6.4%
販売費及び一般管理費	1,648	1,496	3,235	3,019	6,316	
<売上高比>	27.1%	25.1%	27.5%	26.7%	26.0%	

26

為替、原材料価格、人員

為替

(単位：円)

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	上期	通期	1Q	2Q	上期	通期(予想)
米ドル	109	111	110	111	110	107	109	108
ユーロ	130	130	130	128	123	119	121	122

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	上期	通期	1Q	2Q	上期	通期(予想)
銀	58	54	57	55	53	57	55	56

人員

(単位：人)

	2018.9末	2018.12末	2019.3末	2019.6末	2019.9末
連結	75,329	74,425	72,332	72,358	72,842

27

2020年3月期 セグメント別業績予想 (2019年11月12日時点)

(単位: 億円)

売上高	2019年 3月期	2020年 3月期 前回予想	2020年 3月期	対前年度		対前回予想	内
							為替影響
イメージング	3,869	4,000	3,700	-169	(-4.4%)	-300	-80
ヘルスケア	4,843	5,100	5,200	357	(+7.4%)	100	-70
マテリアルズ	5,547	5,600	5,450	-97	(-1.7%)	-150	-80
ヘルスケア&マテリアルズ	10,390	10,700	10,650	260	(+2.5%)	-50	-150
ドキュメント	10,056	10,100	10,000	-56	(-0.6%)	-100	-120
合計	24,315	24,800	24,350	35	(+0.1%)	-450	-350

*セグメント間取引消去後

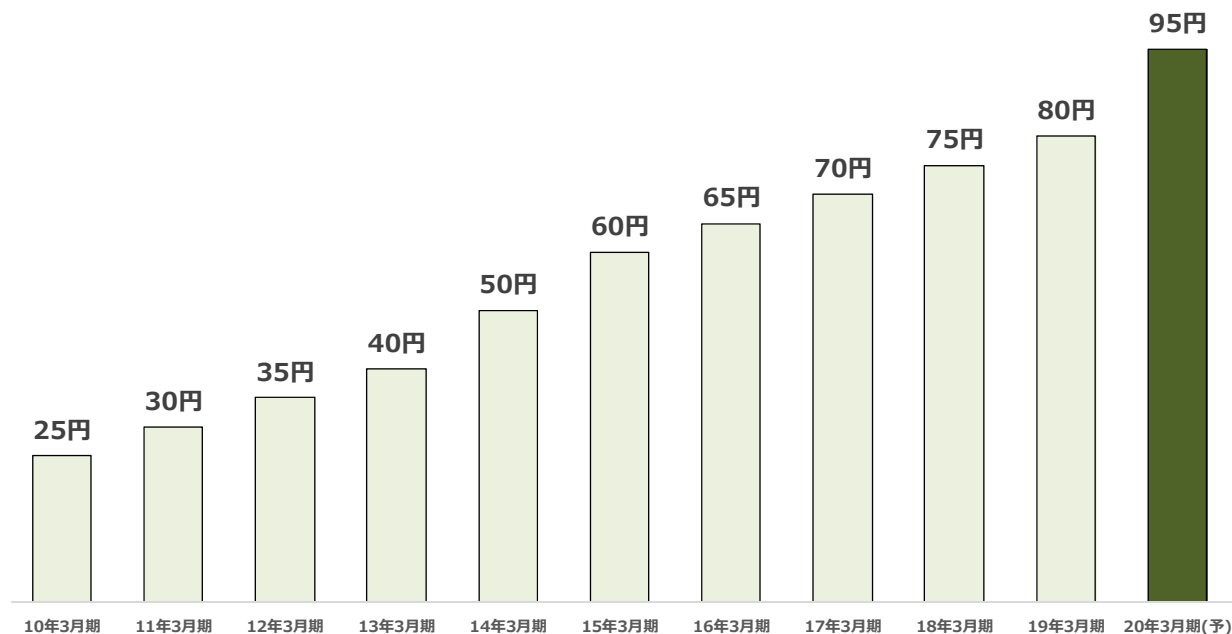
営業利益	2019年 3月期	2020年 3月期 前回予想	2020年 3月期	対前年度		対前回予想	内
							為替影響
イメージング	511	530	400	-111	(-21.7%)	-130	-25
ヘルスケア	333	440	480	147	(+44.1%)	40	-25
マテリアルズ	643	650	710	67	(+10.4%)	60	-15
ヘルスケア&マテリアルズ	976	1,090	1,190	214	(+21.9%)	100	-40
ドキュメント	964	1,190	1,190	226	(+23.4%)	0	-30
全社/連結調整	-353	-410	-380	-27	-	30	0
合計	2,098	2,400	2,400	302	(+14.4%)	0	-95

28

株主還元

■ 配当金

2020年3月期の配当金は、10期連続増配となる対前年15円増配の95円/株を予定



29

パイプライン (2019年11月12日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬	経口	日本	承認済み
			米国	Ph III
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認済み
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬 脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph II
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I / II
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリボソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

参考情報

富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フイルムホールディングス 統合報告書2019

https://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_library/integrated_reports/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- 2018年 3月 イメージングソリューション事業説明会
- 2019年 1月 医薬品・バイオCDMO・再生医療事業説明会
- 2019年 2月 ESG説明会

富士フイルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://brand.fujifilm.com/neverstop/jp>

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>